

学校法人 尚綱学園 広報誌
SHOKEI EDUCATIONAL INSTITUTION
PUBLIC INFORMATION

礎

ISHIZUE

2004. Autumn vol.03

礎 連載コラム 心の話二題 | ③

ある空港での出来事です。

五月の連休、長い飛行機の旅のあと、人々はロビーで海外でのお土産がたくさん買ったトランクや荷物を受け取り、急ぎ足に家路に会社に向かって行く。

その中にトランクに腰をかけてぼんやりと佇んでいるひとりの老紳士がいた。傍らの人が心配して「どうなされたのですか。ご気分でも悪いのですか。」と尋ねると老紳士曰く

「私は長い旅をして空港に着いたばかりです。

お陰様で無事からだと荷物は今、日本に帰ってきました。

しかし一緒に楽しい旅をしてきた心はまだここに着いていません。心が辿り着くのを待っているところです。」

インドでの話です。

ある人が、大そう高価な宝石をたくさん持っていました。

ある晩強盗がその人の家に入り「その宝石をよこせ」と脅しました。

その人は「ああ、いいよ」と言っただけで渡しました。

ところがしばらくすると同じ強盗が戻ってきました

「これを返す」と言っただけで宝石を返しました。

「ああ、そうか。じゃ何か代わりに欲しいものがあるか。」と聞きました。

すると強盗は「これだけ高価な宝石を人にやっておきながら

ちっともそれを惜しがらないお前の心が欲しい。」と言ったという話です。





心は花の如く。

尚綱中学・高校ギター・マンドリン部

阿蘇に響く マンドリンの音は 絶えることなく

昭和60年5月12日は、昭和天皇が阿蘇野草園に行幸された際、ギター・マンドリン部の演奏をご覧いただいた記念すべき一日です。全国植樹祭にご臨席される昭和天皇の御視察先などの準備を担当された元熊本県人事委員会事務局長の武原信雄さんは、天皇にお楽しみいただけ

る計画を考え、植物学者でもある昭和天皇に阿蘇野草園をご覧いただけるよう熊本県を説得。その場でギター・マンドリン部による演奏をご覧いただきたいとも考えていました。

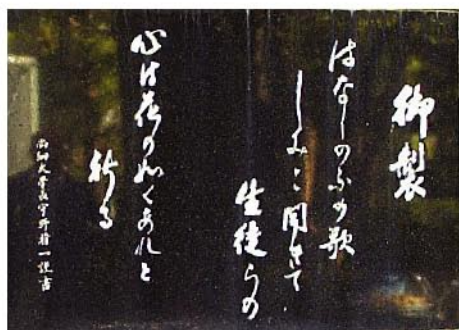
現在も続いている「はなしのぶコンサート」は、阿蘇の野草園で、はなしのぶの美しさに魅せられた人々を中心となって始められたもの。ギター・マンドリン部も昭和56年から参加していたのです。武原さんは、コンサートは阿蘇の野草や小鳥たちに捧げる音楽会であり、主役は野の花や小鳥たちであること、演奏を行う生徒たちは新緑に合う清純な装いで素晴らしいことなどを宮内庁の現地調査団に伝えました。そして、尚綱高校の快諾により、正式に決定したのです。

やわらかな陽射しのもとで、マンドリンの音色を一途にお聴きになられた昭和天皇は大変お喜びだったと伝わり、尚綱高校は、「御製」を賜る名誉に預かりま



休職村南阿蘇施設課長
後藤 秀徳さん

「御製」とは
 天皇のおつくりになった
 詩歌や文章のこと
 ※国体等にご臨席された折のお気持ちを和歌に託して担当県などには御下賜になりますが、特定の学校に御下賜になるのは希有なことです。



した。
 昭和天皇のお言葉の中に込められたお気持ちを胸に、これからもギター・マンドリン部の活動は続いていきます。

第2回の「花しのぶコンサート」から携わってきた休暇村南阿蘇の後藤秀徳さん。会場として生徒たちを迎え入れる方から見た「コンサートについて伺いました。」
 「まずは、『野の花に音楽を捧げる』という趣旨に感銘しました。また、ここを訪れる生徒たちの礼儀正しさ、純粋さに触れるにつれ、彼女たちだからこそ野の花にふさわしい音楽が奏でられるのだと思っています。自然保護に対する取り組みとしても大きな意義をもっており、毎年各メディアからの問い合わせも多いのです。根強いファンもいらっしゃる。先輩方が築き上げた伝統を受け継いでいくことは大変だと思いますが、音楽に対するひとむきな気持ちをいつまでも持ち続けて欲しいですね。」

礎 いしづえ | vol.03 Contents

◎巻頭特集 心は花の如く。 〔尚綱中学・高校ギター・マンドリン部〕	巻頭
尚綱公開講座 人間探究	04
【尚綱学園史】尚綱学園 校地小史	06
エッセイ・花との会話	07
キャンパス イベント レポート	08
インフォメーション	11
2005年度 募集要項	12
礎 連載コラム「心の話 二題」	巻末



指揮者
宮尾 光一先生

そして、今年も十月二日 熊本県立劇場コンサートホールにて、「アクア」とともにその音色で、観衆を魅了しました。



顧問
甲斐 正哉先生

昨年、卒業生で結成する「AC CUA(アクア)」も誕生。卒業後もマンドリンに親しめるように、指導や練習場を学校がバックアップする体制を整えています。「3年間で燃え尽きてしまうのではなく、卒業後もマンドリンを続けて欲しい。このクラブが、音楽を一生身近に感じるようになるきっかけになれば嬉しいですね」と甲斐先生。マンドリンを基に築かれた輪は、美しい音色とともに広がり続けています。

創部をふりかえって

昭和50年の創部から昭和56年まで顧問を務め、現在にいたる基礎を作られたのが川上次雄先生です。「当初、一番苦労したのは活動費の工面。同窓会やPTAから寄付を受けていたものの、音の幅を広げるため、自費で楽器を購入したこともありまし」とのこと。



名誉顧問
川上 次雄先生

思い出に残っている時期は、大阪で開かれる「全国高等学校ギターマンドリンフェスティバル」に初めて出場した昭和52年ころからの数年間。「学校や保護者の方たちに出場の許可がいただけるようお願いし、春休みや5月の連休を返上して猛練習を重ねたこと、寝台列車で大阪へ向かったこと、そこで尚瀬の卒業生から温かく迎えられたことなどが思い出されます」と話します。

「今後も、一層の成長を願っています」という川上先生。今も、尚瀬コンサートが開かれる日を楽しみにしているそうです。

これからのマンドリン部

現在、高校18名、中学4名の部員で活動しているギター・マンドリン部。「私が顧問になって7年。当初は厳しい雰囲気は漂ってしま

た」と話してくれたのは甲斐正哉先生です。また、指導者がいないと音合わせができないという状況でもあったのだとか。「生徒たちには、クラブ活動を通して音楽のすばらしさを知ると同時に、美しいものに素直に感動する心を持つて欲しいと思います。最近では、一人ひとりが目的意識を持って課題に取り組めるようになり、理想的なクラブ活動になりつつあります」。

また、甲斐先生とともにクラブを指導する宮尾光一先生の存在も大きいと話します。クラシックをはじめ、オペラやビートルズ、童謡、冬のソナタの主題歌といった話題曲まで、演奏曲の8割は宮尾先生が編曲を担当。さまざまなジャンルの楽曲にチャレンジすることも、生徒たちの練習意欲をかき立てる一因になっています。



マンドリンの魅力にひかれて。



田中 綾絵さん
尚瀬高校3年

入部のきっかけは、友達に誘われたから。初めの頃は2本の弦と一緒に弾くことがとても難しかったのですが、練習を積み重ねるうちに楽しさがわかってきました。昨年からOGが作るアクアとの交流演奏を行っています。先輩方との練習は普段とは違った緊張感があり、技術の向上はもちろん、気分的にも引き締まります。



永野 綾香さん
尚瀬高校3年

両親の勧めもあって、入学前から入部しようと思っていました。楽器を弾くことが楽しいし、部内の雰囲気がとても良く、私にとってクラブ活動は重要な存在になっています。演奏会前は先生に練習を見ていただいているのですが、それ以外は自主練習が中心。先輩から後輩へと教えあうのも、このクラブの魅力だと思っています。



森川 千章さん
尚瀬短期大学1年

卒業後もマンドリンを弾き続けたいと思い、アクアに参加しました。在校生たちと交流演奏をするほか、アクアだけで月に1度はボランティアの訪問演奏を行っています。先輩と一緒に練習をする時は、私たちが指導することはありません。でも、自分達なりに協力しあって上達していく様子を見ていると、頼もしく感じますね。



木村 あかねさん
九州看護福祉大学1年

いまでもOGとの交流は盛んでしたが、アクアが結成されて、卒業後も母校でマンドリンの練習ができるのはうれしいですね。先輩たちを見守りながら一緒に練習をするのも、現役の時とはまた違った楽しさがあります。悩みがあればアドバイスしたいと思いますが、自分たちらしい演奏を心掛けて欲しいと思います。

平成15年度の活動

5月1日	文化祭演奏 校内
5月11日	九州マンドリンフェスティバル 熊本市西部市民センター
5月31日	県高校総合文化祭 県立劇場
6月22日	第22回花しのぶコンサート 高森国民休暇村
7月	前期強化合宿 校内
8月1日	県高校器楽コンクール 市総合女性センター
8月8日~12日	全国総合文化祭 福井県
8月25日~27日	後期強化合宿 国立阿蘇青年の家
10月4日	第6回尚瀬コンサート 県立劇場
11月9日	あ・さ・ひ・ばコンサート 秋津市民センター
11月15日	県庁プロムナードコンサート 熊本県庁
12月16日	県代表選考会 県立劇場
12月20日	ホワイエコンサート 御船町カルチャーセンター
1月20日	連合音楽会 県立劇場
2月7日	環境&福祉フェアコンサート グランメッセ

平成16年度の活動と予定

5月1日~2日	文化祭演奏 校内
5月8日~9日	九州マンドリンフェスティバル 大分県立湯布院青年の家
5月28日	県高校総合文化祭 県立劇場
6月27日	第23回花しのぶコンサート 高森町国民休暇村
8月4日~5日	前期強化合宿 校内
8月6日	県高校器楽コンクール 益城町文化会館
8月21日~23日	後期強化合宿 清和村
8月21日	第1回屋空コンサート 清和村高瀬天文台
8月22日	矢部町コンサート 矢部町浜町
10月2日	第7回尚瀬コンサート 県立劇場コンサートホール
11月13日~14日	第19回国民文化祭・福岡2004 福岡県大川市
11月27日	熊本マンドリン協会創立50周年記念演奏会 県立劇場コンサートホール
12月15日	県代表選考会 県立劇場コンサートホール
1月18日	連合音楽会 県立劇場コンサートホール

マンドリンの種類

マンダラ ← マンドセロ ← マンドリン

マンドリンってどんな楽器?

15~17世紀、ヨーロッパの宮廷音楽を代表する楽器、リュートから発展したイタリアの民族楽器。1620年、ベネチアのバロッキという人物によって作られ、改良されながら型が整えられてきました。弦は合計8本あり、同じ高さの音を出す2本が1組。ピックで1組の弦をはじいて音を出し、弦を素早く上下にはじくとレモロ奏法で奏する音色が特徴的です。マンドリンの仲間には、マンドリンより型が一回り大きく、1オクターブ低い音を出す「マンダラ」、マンダラよりさらに大きく、ベース音を担当する「マンドセロ」があります。

平成16年
テーマ

人間探究



講座について
社会貢献事業の一つとして平成2年に始めた「尚綱公開講座」。受講し希望の方々のご期待にもっと応えたいと、昨年度の講座終了後に公開講座委員会を常設し、内容を検討してきました。その結果、現代人類が抱えるさまざまな難問題を克服するためにも、これから人間はいかにして生きていくべきかを改めて問い直すという意味を込め、当面のメインテーマに「人間探究」を掲げることになりました。平成16年度のサブテーマは「正しい生き様を求めて」。これからの私達の生き方について、さまざまな視点から皆で考える各講座が7月に開かれました。

7月27日(火) 9:00~10:30

食と健康

～食物の材料とはたらき～



太田 直一
尚綱短期大学副学長
〔担当学科〕
食品学特論Ⅰ(成分)、食品学特論Ⅱ(材料)、食品学特論Ⅲ(加工)、食品学特論実験、特別研究

〔講義内容〕
食品の特性機能が、人体機能と相互作用した際に得られる働きを考察。食物成分が持つ、栄養的(生命維持)、嗜好的(感覚特性)、生理的(生体調節)の3機能のうち、病気予防をはじめ、健康に寄与する成分を含む生理機能を詳細に述べるとともに、日本の伝統的食品である大豆成分に関する長年の研究結果などを紹介しました。

7月26日(月) 9:00~10:30・10:40~12:10

心と体の健康

～幼児の心と体(1)
～老人の心と体(2)



石橋 健治朗
尚綱短期大学
客員教授
〔担当学科〕
保育学(保育実習を含む)、小児保健Ⅰ・Ⅱ、精神保健(産産内容)

〔講義内容〕
(1)では、子どもが心も体も健康に発育するための要素として、周囲の大人による理解や指導、環境提供の大切さ、基本的な生活習慣の確立法、心理的要因で起こる病気などを紹介。(2)では、加齢とともに心身に表れる変化を説明。健やかに老いるためには、日頃の体調管理と、心の若さを保つことの重要性などを説きました。

7月22日(木) 9:00~10:30・10:40~12:10

生き物としてのヒト(1)・(2)



江口 吾朗
尚綱学園理事長
尚綱短期大学学長

〔講義内容〕
地球上に棲息する全生物の中の一生物種としてのヒトの特異性、生殖活動と社会の高齢化の説明に始まり、高度な脳の働きからもたらされた人口増加や食料問題、食料事情から引き起こされる環境破壊問題、エネルギー問題など、人類が克服を迫られている諸事情に言及。人間らしい生き方、生きる目的はどこにあるのかを探りました。

7月29日(木) 9:00~10:30、10:40~12:10

住まいの健康(1)・(2)

～快適な住環境～



石原 修
熊本大学工学部教授

〔講義内容〕
日常生活において、最も関係の深い「住まい」と健康の関係性を考察。人体の熱収支や温熱環境、空気環境をもとに、住環境から受ける人体の影響を説明し、住まいが健康的に造られていることが人の健康に繋がること。近年の住宅の問題点を踏まえ、健康創出のための健康阻害要因を排除することの重要性を説きました。

7月28日(水) 10:40~12:10

法における人間像



良永 彌太郎
熊本大学法学部長

〔講義内容〕
法律条文のもとに示される個々の人間の姿と、生身の人間の実際の姿について、市民社会と市民法、現代社会と社会法の関わりを軸に持論を展開。雇用契約分野での社会立法の登場と特色、社会保障立法にふれながら、社会福祉立法における人間像の変容、新しい思想について、自立した人間像への転換期であることを示唆しました。

7月28日(水) 9:00~10:30

人と環境



森元 克士
尚綱短期大学教授
〔担当学科〕
生物学、人間と生命、保育内容研究Ⅲ-環境、子どもと環境

〔講義内容〕
身体の生理的調節機能と環境との関わりについて、人の体温調節を中心に展開。深部体温の許容限界の狭さや、発汗などによる生理的体温調節機構の働き、マラソンの記録と気温の関係などを紹介しながら、冷暖房や住居の発達が要因と考えられる適応能力の低下を踏まえ、人間にとって本当に快適な環境とは何かを追求しました。

7月30日(金) 10:40~12:10

文房四宝と書

～硯を中心に～(現品鑑賞)



江口 實穂喜
尚綱短期大学客員教授
〔担当学科〕書学概論Ⅰ、作品研究Ⅰ・Ⅱ、漢字創作研究Ⅰ・Ⅱ、書道科教育法Ⅱ、卒業演習

〔講義内容〕
書を学ぶ人にとって必需品である文房四宝(硯・墨・筆・紙)のうち、硯を取り上げ、その名称や古代中国から続く唐硯の歴史や種類、硯匠などについて説明。また、日本と中国との交流を通して伝わった硯の歴史や硯の種類、産地などを詳細なデータをもとに紹介し、名品を鑑賞して心を豊かにすることの大切さを説きました。

7月30日(金) 9:00~10:30

謡と囃子と舞をもって神と心を遊ばせよ

～九州中心部の奉納能をめぐって～



木山 ロリнда
尚綱短期大学
非常勤講師
〔担当学科〕
日本文学Ⅰ・Ⅱ

〔講義内容〕
藤崎八幡宮の秋の例大祭や菊池市菊池神社の御松囃子御能、福岡県大田市近郊の宝満神社の奉納能など、全国的にも珍しい能を、映像を用いながら解説。能に対する人々の思い、人と神と政治を連繫して続いてきた伝統芸能の生命力を説き、身近な伝統芸能や行事を守ることが後世の人々に恵みをもたらすと訴えました。

7月27日(火) 10:40~12:10

人とサルの係わり

～川辺川の野生ザルと民俗～



藤井 尚教
尚綱短期大学副学長
〔担当学科〕
心理学、発達心理学、教育心理学Ⅰ・Ⅱ、青年心理学、基礎セミナー

〔講義内容〕
熊本県下で最も野生ザルの集団が密集している地域である川辺川流域に絞って、20年間にわたる生態研究と民俗学的研究をもとに、日常生活レベルにおいて、人とサルとがどのように関わってきたのかを紹介。野生ザル集団の行動域や個体数の変化、農林産物に対する被害問題、地域に残るサルに関する言い伝えなどを論じました。

公開講座に参加された方々の声
延べ1005人の受講者の方から寄せられた、本年度の公開講座に対するご感想の一部を紹介いたします。
「本年度は、テキストの事前配付とともに内容も充実して、目を見張るごはかり。これが公開講座だと実感し、満足感を感じています。来年も期待しています」
「今年は、今までで一番充実していて、分かりやすく専門的な講義を受けることができました」
「私立大学の良さをあらにこちらに感じました。気持ちよく講座を受けさせていただき、有意義な1週間でした」
「今年は、講師の先生方の迫力を感じました。いろいろな質問を追究されているのだなあ、いろいろな世界があるんだなあ、興味深く聴きました。今、人生の折り返し地点におり、自分らしく、何ができるのかを考える機会になりました」

尚綱学園校地小史

尚綱学園の原点であった尚綱校は、創立当時昇町にありました。この場所は、現在安政町六、シミズ帽子店のあたりになります。大正四（一九一四）年に発行された最新熊本市街地図にはつきりと示してあります。大正九（一九二〇）年、昇町にあった尚綱校は、大江村九品寺の新社地に移転しました。



【新熊本市史 別冊第一巻 地図・地図 下 近代・現代】236
最新熊本市街地図（大正四年） 熊本県立図書館

本市電が開通して八十年です。現在、市電は学園の裏門前の幹線道路を走っています。なぜ、尚綱学園の玄関である正門は、市電が走っている幹線道路側ではないのでしょうか。このことは、熊本大学薬学部・鎮西学園も同様です。実は熊本市東部地域の発展は、市電開通と重なり合っているのです。大正四年の地図をみればわかるように大甲橋



【新熊本市史 別冊第一巻 地図・地図 下 近代・現代】237
最近実測熊本市街地図（大正十三年） 熊本県立図書館



現在の安政町周辺

は市電の開通までありませんでした。元来、水前寺方面への幹線道路は、下通から安巳橋を渡り、本校の正門前から熊本大学薬学部前を通るルートでした。そして、明治四〇（一九〇七）年十二月、熊本軽便鉄道株式会社が下通から安巳橋へ水前寺間に軽便鉄道を敷設しました。したがって、本校の正門前は、当時のメインストリートだったのです。



安巳橋の上を走る軽便鉄道【写真集熊本100年】熊本日日新聞社
※軽便鉄道…石炭を焚き蒸気機関で軌道を走る小型の鉄道車両

面の景観が変わることになりました。その後、本校北側に産業道路が開通し、ますます本校周辺の景観は移転当時と様変わりしました。本稿の作成に当たっては、菊池郡合志町在住の藤吉流さんにご教示をいただきました。

があり、白川専用橋（大甲橋）の架設費が熊本電気会社から寄付され、幅約十八メートルの道路を新設して併用線とすることになりました。ここにおいて、九品寺から水前寺方

エッセイ 花との会話

いくつになっても母から教わる花の名前がある
散歩道で花屋の店先で戴きものの花束の中にも
名前を呼ばなくても花は咲くけれど
名前を知らなくても生きていけるけれど

花の名を優しく抱いて眺める
咲き方にも「生命(いのち)」が響いてくるような気がする

あ なたは知っている花の名前をいくつ言えますか。人間同士もまず名前を交換し、相手の名前を覚えてから交流し、親しくなるのと同様、花についてもその名前を知らなければ親しみや愛着は出てこない。

漫然と花を眺める人ではなく、名前を覚え花と友達になり花にもやさしさが注げる人になれたらいい。

生け花・花芸安達流の家元安達種子さんは六才から生け花を始め、「花を切る時は、ごめんなさいと言うように」とお父さんから指導を受ける。生け花は盛り花と違い余分な花や枝を切り取り、減らしていく作業である。花の形がどこから見たら一番美しいかということを考え、余分なものを切り捨てていく芸術、それ故切り取られたもの、捨てられたものの重みを担っている作業であることを忘れてはならないという。

また中学生の時お父さんと武蔵野の草原を歩きながら、「一生花を足で生けなさい」と教えられる。

花を足で生ける。

自然の中の木や花をよく見て歩き、こまかく観察し、それらのことに詳しく、いとおしくなる位好きになりなさい。かといってそれに溺れてもいけない。

そして、生け花に人間の歌を押しつけるのではなく、本質を見抜いてそれらの良さを歌い上げなさい。

椿に口があるとしたら「あなたの生けてくれた椿は自然の私よりももっと私らしい私だ」と言つて喜んでくれなければいけないという。

美しい花がある。花の美しさというものは、花を美しいと思う人間の心があって、はじめて美しい花も存在することになる。花を見てもその人に感じる価値尺度がなければ花は見えない。

「よく見ればなすな花咲く垣根かな（芭蕉）」芭蕉は花を摘みとることを望まない。それに手を触れさせない。

見つめることによって花と一体化することと花を生かすことを喜びとした。道端の小さな草花にも、ふと視線をやり、そこから何かをつかもうとするそんな鋭さと、豊かさを身につけた人でありたい。そしてさらに花に語りかけ、花と会話ができるようになれたら最高である。自然はそれを愛するものの心を裏切ることは決してない。

皆様のオリジナルエッセイの投稿を募集しています

オリジナルエッセイであれば、特にテーマや特定のジャンルまた、応募資格も問いません。本文800字前後にてお願いいたします。（随時募集）応募の際には必ず氏名、住所、電話番号を明記してください。作品は本誌上への掲載をもって発表と換えていただきます。

●作品の宛先・お問い合わせ

尚綱学園事務局 広報室宛 〒862-8678 熊本県熊本市九品寺2丁目6番78号
メールでの応募も受け付けております ◆[メールアドレス] kohou@shokei-gakuen.ac.jp

高等学校

高校体験入学・学校説明会

校長はじめ教職員や生徒会による学校説明、ステージでの部活動紹介、校内見学などが行われました。伝統のある学校だけに、家族や親戚から話を聞いていたという中学生も多かったようです。引率保護者を含めた約310名の参加者は、充実した校内設備やのびのびとした明るい校風、特徴ある教育プログラムなどを目の当たりにし、「たいへん良い印象を持った」「さらに関心がわいた」と話してくれました。



韓国高校生との交流会

7月18日、「新太平洋青少年文化使節団」として、韓国の高校生17名が訪れました。熊本からは尚綱高校生8名、九州学院高校生9名が参加。歓迎式典で文化交流が行われたあと、韓国の高校生達はそれぞれのパートナーとなった生徒の家庭でホームステイ体験をしました。両国の生徒たちは言葉の壁にとまどいながらも、お互いを理解しようと努力することの大切さを学びました。



体育祭

9月19日(日)、今年も水前寺競技場にて体育祭が開催されました。テーマの如く尚綱乙女子の力で明方までの大雨も開催時にはすっかり上がり生徒たちは泥刺と行進を。プログラムも進み、やはり、華は「マスゲーム」。元気な1年生は「ソーラン節」に人文字の「和」、2年生はフラフープ演技にオリンピックの五つ輪を人文字で描きました。最後の年を一生懸命「扇の舞」の演技をする3年生、そして伝統ある「尚綱」の人文字を描き終ると、演技する生徒、応援席の皆々全員が感無量となっていました。「今年の体育祭は1・2・3の学年の絆を越えて、心がひとつになり、アットホームな雰囲気で大変よかったですと思います。」と体育科の吉田先生。

日時・場所 / 平成16年9月19日(日) 熊本市水前寺競技場
テーマ / "power girls"



大学・短期大学

オープンキャンパス

今年は大学・短大あわせて、県内外から781名の高校生の参加がありました。プログラムは在学生によるキャンパスツアー、模擬講義、実習見学などで、本学の特徴をわかりやすく紹介。高校生達はたいへん興味深い様子で、在学生に熱心に質問する光景も見られました。



留学

本学文学部英文学科コミュニケーションコースでは、より実践的な英語のスペシャリストを目指す学生17名が留学プログラムに参加しました。学生達は「生きた英語の修得はもちろん、外国で生活し集中して勉学することで、学ぶことに対して良い意味で意識が変わった」と充実した留学体験のすばらしさを語ってくれました。留学中に卒業に必要な単位を取得できるシステムも、高い評価を得ています。



短大幼児教育科のサマーセミナー

幼稚園・保育所・施設等の教職員約90名の参加者を迎え、第19回サマーセミナーが行われました。まず、本学客員教授石橋健治朗氏が「子どもの病気とその対応」をテーマに講演。続いて「コミュニケーション能力の高め方」「保育での描画指導」「児童虐待とDV」など7講座が開かれました。参加した職員からは、「すぐにでも保育の現場に活かそうな内容で、大変充実していた」との声が聞かれました。



Information

インフォメーション #1

平成17年度熊本県公立学校
教員採用試験合格者
(一次試験合格者全員合格)

- ◆小学校教諭…甲野 裕里(国文学科卒業)
- ◆中学校教諭等〔国語〕…境 彩乃(国文学科卒業)
- ◆高等学校教諭等〔英語〕…山口 明子(英文学科卒業)
- ◆養護学校教諭(専願)…和田かおり(国文学科卒業)

COLLEGE FESTIVAL

尚綱大学「楡木祭」

今回は“BE COLORFUL 尚綱”をテーマに11月13日(土)・14日(日)(両日とも10:30~16:00)の2日間、尚綱大学楡木キャンパスで開催。書道や美術の展示、たこ焼きなどの模擬店のほか、ステージではお笑いタレントライブなども予定されている。



尚綱短期大学「秋陽祭」

11月12日(金)9:00~17:00 楡木キャンパス
11月13日(土)10:00~15:00 九品寺キャンパス
11月14日(日)10:00~15:00 九品寺キャンパス
10:00~16:00 楡木キャンパス

今回は“I'm Lovin' it”をテーマに九品寺、楡木キャンパスで開催。学習・研究の成果発表(於:ステージ) 模擬店・バザー・ステージなど一般公開。

尚綱のために新しい風!



尚綱大学
岡田 則浩助教授

〔担当学科〕情報処理ⅠA・情報処理ⅠB
情報処理ⅡA・情報処理ⅢA・基礎セミナー

今年度から尚綱大学・短大で情報処理の科目を担当しています。

17年間、医用工学機器の開発やケーブルテレビ会社のサーバ管理・システム管理など、コンピューターに関わる仕事に携わってきましたが、大学で教えるのは初めて。文系の大学でコンピューターを教えるに当たっては、「専門でない人にとってコンピューターのあり方」を常に意識しながら試行錯誤しています。男性が多い世界ですが、特にWeb制作などは女性のセンスを生かせるもの。学生時代にコンピューターに親しみ、就職にもっと生かして欲しいですね。女子大ということもあって、生徒達は大人しい印象がありますが、あいさつなど礼儀正しい態度には感心させられます。



尚綱大学
釜賀 誠一講師

〔担当学科〕情報処理ⅠA・情報処理ⅠB
情報処理ⅡB・情報処理ⅢB・基礎セミナー

これまでは非常勤講師として情報処理の授業に携わってきました。

今年度からは専任講師として迎えられる、情報処理教育の指導はもちろん、学園内の連携がスムーズに、そして便利に働くよう、ネットワークシステムの管理・構築を検討していく予定です。情報処理の授業は時間数の少ない科目になるので、実際に使える・役に立つ授業内容となることを心がけています。また、就職には欠かせない資格の取得もできるように、カリキュラムや演習室の検討も必要です。しかし、コンピューターを使いこなせるようになるには、毎日の積み重ねが大切。学生たちもまじめに熱心に取り組んでいるので、卒業する時には大きな実を結べるように指導していきたいと思っています。

SHOKEI Campus Event Report

中学校・幼稚園

第3回オール熊本小学生英会話暗唱大会

子ども達が英語に親しみ、国際理解を深める場を設けようとスタートしたこの大会も、今年で3回目を迎えました。今回は今までで最も多い76組132名の参加者があり、この大会への関心の高まりが窺えました。学園大賞(グランプリ)受賞者は、発音やイントネーション、表現力で高い評価を受けた帯山小学校6年の坂口貴咲さん、西原小学校6年の小出実登さんのペアでした。



幼稚園園舎の起工式

9月13日(月)楡木キャンパス内の新幼稚園園舎建設地において江口理事長、岩永組社長、梵設計事務所長らが御入れ、建築安全祈願の起工式が執り行われました。完成は平成17年2月予定。



完成予想図
※パースはイメージです。



○尚絅短期大学 専攻科 募集人員/食物栄養専攻 25名(前期試験22名・後期試験3名)

平成17年度選考日程

選考の種類	出願期間	選考日	合格発表	入学手続締切
前期試験選考	平成17年1月11日(火)~1月19日(水)	平成17年1月25日(火)	平成17年2月2日(水)	平成17年2月10日(木)
後期試験選考	平成17年2月23日(水)~3月4日(金)	平成17年3月9日(水)	平成17年3月16日(水)	平成17年3月25日(金)

【取得資格】学士(栄養学)の学位申請資格、管理栄養士国家試験の受験資格

【資料申込】ハガキ、Eメール、電話での申し込み可能(費用・送料無料) E-mail dtnyushi@shokei-gakuen.ac.jp

【出願書類提出先及び問い合わせ先】〒862-8678 熊本市九品寺2-6-78 尚絅短期大学専攻科入試課 TEL.096-362-2011

○尚絅高等学校 募集人員/320名

平成17年度選考日程

選考の種類	出願期間	選考日	合格発表
奨学生	平成17年1月13日(木)~1月18日(火)	平成17年1月25日(火)	平成17年1月28日(金)
推薦生			
一般生	平成17年2月4日(金)~2月9日(水)	平成17年2月16日(水)	平成17年2月21日(月)

【出願書類提出先及び問い合わせ先】〒862-8678 熊本市九品寺2-6-78 尚絅高等学校 TEL.096-366-0295 FAX.096-372-8341

【ホームページアドレス】http://www.shokei-gakuen.ac.jp/shokeih/

○尚絅中学校 募集人員/80名

平成17年度選考日程

選考の種類	出願期間	選考日	合格発表	
第1回	特別奨学生(併願可) 専願生	平成16年12月6日(月)~12月17日(金)	平成16年12月19日(日)	
				平成16年12月21日(火)
	特技特待生(専願)	平成16年9月2日(木)~12月17日(金)		
第2回	特別奨学生(併願可)	平成16年12月24日(金)~平成17年1月14日(金)	平成17年1月15日(土)	
	特技特待生(専願)			平成17年1月18日(火)
	一般生(併願可)			
第3回	特技特待生(専願)	平成17年1月19日(水)~3月18日(金)	平成17年3月19日(土)	
	専願生			平成17年3月22日(火)

【出願書類提出先及び問い合わせ先】〒862-8678 熊本市九品寺2-6-78 尚絅中学校 TEL.096-363-2301 FAX.096-371-5683

【ホームページアドレス】http://www.shokei-gakuen.ac.jp/shokeij/

礎 vol.03 編集後記 Voice of Staff

軽やかで可憐なマンドリンの音色は、いつも変わらず私たち同窓の心に深く響きます。今回特集いたしましたのは、ギター・マンドリンクラブの創部から今日にいたる歴史や、はなしのぶコンサートにまつわるエピソードなど。マンドリンに寄せるメンバーの思いや、一人ひとりがクラブ活動の中から得たものなど、ふだんは窺い知ることのできない一面をご紹介できたのではないかと考えています。また、この夏に開講しました公開講座には、猛暑の中、多くの方々にご参加をいただくことができました。改めてお礼申し上げます。この二つの特集を通して、学外における私たちの活動の一端を、少しでも皆様にお伝えすることができれば幸いです。



○尚絅大学 文学部

平成17年度選考日程(推薦・一般)

選考の種類	出願期間	選考日	合格発表	入学手続締切
特別推薦(専願)	平成16年11月1日(月)~11月12日(金)	平成16年11月18日(木)	平成16年11月22日(月)	平成16年12月7日(火)
推薦(併願)				
自己推薦(専願) 社会人を含む	平成16年12月1日(水)~12月9日(木)	平成16年12月13日(月)	平成16年12月14日(火)	平成16年12月24日(金)
第1回試験	平成17年1月19日(水)~2月1日(火)	平成17年2月4日(金)	平成17年2月7日(月)	平成17年2月18日(金)
第2回試験	平成17年2月21日(月)~3月4日(金)	平成17年3月10日(木)	平成17年3月14日(月)	平成17年3月25日(金)
自己推薦(専願) 社会人を含む	平成17年3月7日(月)~3月18日(金)	平成17年3月24日(木)	平成17年3月25日(金)	平成17年4月1日(金)

平成17年度選考日程(編入学生)

選考区分	出願期間	選考日	合格発表	入学手続締切
第1期	平成17年1月19日(水)~2月1日(火)	平成17年2月4日(金)	平成17年2月7日(月)	平成17年2月18日(金)
第2期	平成17年2月21日(月)~3月4日(金)	平成17年3月10日(木)	平成17年3月14日(月)	平成17年3月25日(金)

【取得資格】国文学科…高等学校教諭1種免許状(国語・書道)、中学校教諭1種免許状(国語)、司書及び司書教諭

英文学科…高等学校教諭1種免許状(英語)、中学校教諭1種免許状(英語)、司書及び司書教諭

【資料申込】ハガキ、Eメール、電話での申し込み可能(費用・送料無料) E-mail dtnyushi@shokei-gakuen.ac.jp

【出願書類提出先及び問い合わせ先】〒860-8538 熊本市榑木6-5-1 尚絅大学入試センター TEL.096-338-8840

【ホームページアドレス】http://www.shokei-gakuen.ac.jp/shokeicol/

○尚絅短期大学 家政科(家政専攻・食物栄養専攻)、幼児教育科

平成17年度選考日程(推薦・一般)

選考の種類	出願期間	選考日	合格発表	入学手続締切
推薦選考(専願)	平成16年11月1日(月)~11月11日(木)	平成16年11月17日(水)	平成16年11月25日(木)	平成16年12月3日(金)
第1回試験選考	平成17年1月11日(火)~1月19日(水)	平成17年1月25日(火)	平成17年2月2日(水)	平成17年2月10日(木)
第2回試験選考	平成17年2月23日(水)~3月4日(金)	平成17年3月9日(水)	平成17年3月16日(水)	平成17年3月25日(金)

平成17年度選考日程(社会人)

選考区分	出願期間	選考日	合格発表	入学手続締切
社会人選考	平成16年11月1日(月)~11月11日(木)	平成16年11月17日(水)	平成16年11月25日(木)	平成16年12月3日(金)

【取得資格】家政科/家政専攻…中学校教諭2種免許状(家庭) 衣料管理士(2級)、情報処理士 家政科/食物栄養専攻…栄養士免許 幼児教育科…幼稚園教諭2種免許状、保育士資格

【資料申込】ハガキ、Eメール、電話での申し込み可能(費用・送料無料) E-mail dtnyushi@shokei-gakuen.ac.jp

【出願書類提出先及び問い合わせ先】◎家政科 〒862-8678 熊本市九品寺2-6-78 尚絅短期大学家政科入試課 TEL.096-362-2011

◎幼児教育科 〒860-8538 熊本市榑木6-5-1 尚絅短期大学幼児教育科入試課 TEL.096-338-8840

【ホームページアドレス】http://www.shokei-gakuen.ac.jp/shokeitandai/